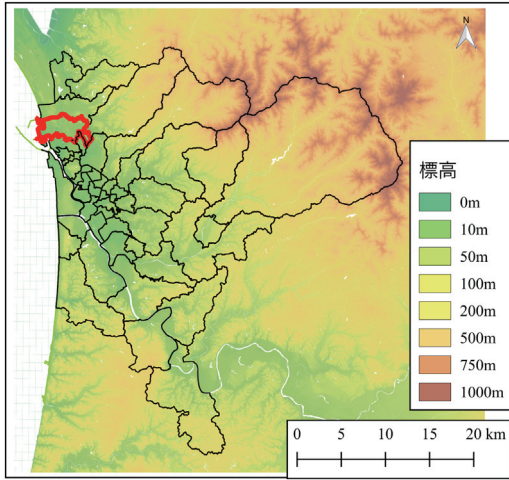


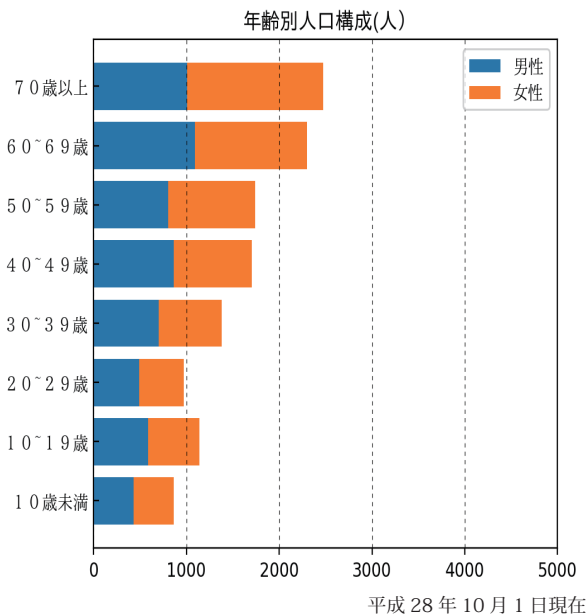
# 05：飯島小学校区

## 位置図



## 1 居住者の現況

人口	12,563 人
世帯数	4,865 世帯
65 歳以上人口	3,733 人
10 歳未満人口	863 人



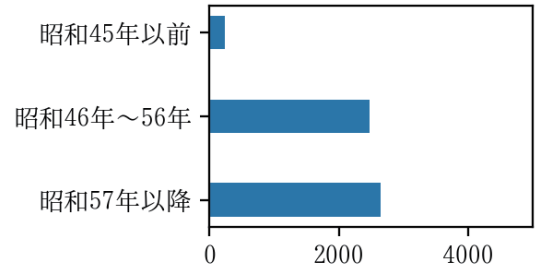
## 2 建物に関する指標

### ■ 構造別建物棟数(棟)

	棟
木造建物	5368
非木造建物	344

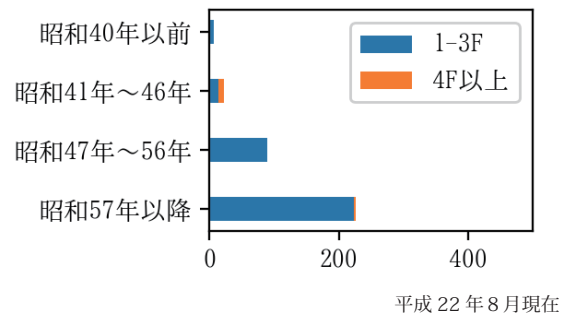
### ■ 建築年代別木造建物棟数(棟)

	棟
昭和57年以降	2,656
昭和46年~56年	2,479
昭和45年以前	233



### ■ 建築年代別非木造建物棟数(棟)

	1-3F	4F以上
昭和57年以降	223	3
昭和47年~56年	89	1
昭和41年~46年	13	9
昭和40年以前	6	0



## 自然的・社会的基本指標

秋田市北部沿岸に位置し、地域の中央部を国道7号およびJR奥羽線が南北に通っている。地形は全体に平坦である。急傾斜地等危険箇所指定箇所は、4箇所である。1983年日本海中部地震では、秋田港区内で液状化が発生した。建物は学校区南部および国道7号、JR奥羽線沿いに集中しており、この集中域は市街化区域に含まれる。人口構成は30歳代以降の年代の占める割合が高くなっており、20歳代以下の人口比率がやや低い。65歳以上の高齢者層は、全体の29%である。昭和57年以降の建物は全体の50%である。

### 3 自然災害に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

#### ■ 洪水

指定河川	新城川	草生津川	
浸水面積 (%)	5.5	1.4	
最大浸水深 (m)	ランク 5	ランク 1	

#### ■ 土砂災害

##### \* 土砂災害危険箇所

種別	箇所数	主な指定箇所
急傾斜地崩壊危険箇所	3	下向、堀川、下谷地 他
土石流危険渓流	0	該当箇所なし
地すべり危険箇所	0	該当箇所なし
なだれ危険箇所	1	下向

##### \* 土砂災害警戒区域

種別	箇所数	主な指定箇所
土砂災害警戒区域	1	堀川
うち土砂災害特別警戒区域をふくむもの		

#### ■ 地震および津波

##### \* 地震 (どこにでも起こりうる直下の地震: M6.9)

平均震度	震度 6 弱
(計測震度)	(5.98)
震度 6 強以上となる面積 (%)	37
液状化危険度ランク	5
建物全壊率 (%)	2.9

##### \* 津波 (秋田県沖の地震で A,B,C 領域が連動した場合)

浸水面積 (%)	24.4
最大浸水深 (m)	14

### 4 災害時要配慮者に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

#### ■ 要支援者関連施設 (収容施設のみ)

種別	施設数
高齢者支援	10
婦人幼児支援	0
障がい者等支援	6

#### ■ 幼稚園・保育所等

種別	施設数
保育所等	1
こども園	1
幼稚園	1

#### ■ 学童支援施設

種別	施設数
児童館等	2

#### ■ 学校等

種別	施設数
小学校	1
中学校	1
高等学校	0
大学・短大・高专	1
養護学校等	0

### 5 防火・防災施設に関する指標 (平成 29 年 3 月現在)

#### ■ 消防関連施設

消火栓数 (箇所)	124
防火水槽 (箇所)	12
消防車台数 (台)	12
消防ポンプ数 (台)	6
消防団員数 (人)	53

#### ■ 避難所/避難場所 (別表参照)

災害種別	施設数
洪水	10
土砂災害	10
地震	10
津波	11
福祉避難所	1
津波避難ビル	1
津波警報サイレン	2

#### ■ 救急・防災関連施設

種別	名称/箇所数
管轄消防署	土崎消防署
管轄警察署	秋田臨港警察署
病院・医院数 (歯科を除く)	5
最寄りの救急告示病院	秋田厚生医療センター
自主防災組織数	13

### 自然災害の危険要素

飯島小学校区では、北部の平野部で新城川の氾濫による浸水が及び、2階以上までの浸水深さとなる可能性が想定されている。また南部では一部草生津川からの氾濫浸水も想定されている。

土砂災害に関しては、危険箇所は4箇所指定されており、1箇所(急傾斜)については警戒区域等の指定を受けている。地震動では学校区の西半に対し、水田等が広がる東半はやや揺れやすく、液状化が発生する危険度はかなり高い。飯島穀丁付近より西側の沿岸部では津波による浸水の発生が想定されている。特に臨港部では5mを超える浸水となる可能性がある。

### 防災上の課題と対策

1983年日本海中部地震では、学校区内で地盤の液状化が発生し、秋田港では波高が3m程度の津波が観測されたものの浸水被害は発生していない。日本海を震源とする地震が発生した場合には、揺れと津波による被害に対する注意が必要である。

学校区内の西部の臨港地域には発電所並びに精錬所があり、また東部は水田等の農用地となっている。建物および人口は、緊急輸送道路である国道7号を中心とした地域に集中しており、災害時要支援者関連施設も多い。災害時には液状化等による道路機能障害が発生する可能性のほか、救援のための車両、避難車両などで渋滞が発生するおそれがある。地域内での災害時の住民相互の協力による自動・共助

の体制を平時から確認しておくことが望ましい。学校区内の住宅密集地では道路が入り組んでいることから、状況に応じて車両の流入規制を行うことも予め検討しておく必要がある。

■ 避難所・避難場所

施設	指定避難所	緊急避難場所					収容人員
		災害の種類（○のみ利用可）					
		洪水	がけ崩れ/ 土石流	地震	津波	大規模火災	
雇用促進住宅 緑ヶ丘宿舎 1号棟から2号棟まで〔2階から4階までの廊下と階段および踊り場〕	x	x	x	x	○	x	540人
飯島地区コミュニティセンター敷地	x	○	○	○	○	x	津波 1,300人 津波以外 650人
飯島地区コミュニティセンター	○	○	○	○	x	x	128人
飯島小学校グラウンド	x	○	○	○	x	x	8,669人
飯島小学校校庭・グラウンド	x	x	x	x	○	x	19,970人
飯島小学校（体育館）	○	○	○	○	x	x	359人
秋田工業高等専門学校グラウンド	x	x	x	x	○	x	30,400人
宗教法人雲祥院霊園および山林	x	x	x	x	○	x	1,700人
飯島中学校グラウンド	x	○	○	○	x	x	4,890人
飯島中学校（体育館）	○	○	○	○	x	x	611人
飯島西部街区公園	x	○	○	○	○	x	津波 2,500人 津波以外 1,250人
飯島穀丁第四児童遊園地（松風団地）	x	○	○	○	○	x	津波 250人 津波以外 125人
飯島神社街区公園	x	○	○	○	○	x	津波 4,600人 津波以外 2,300人
飯島老人いこいの家敷地	x	x	x	x	○	x	970人
飯島道東一丁目第一児童遊園地	x	○	○	○	○	x	津波 500人 津波以外 250人
医療法人久盛会秋田緑ヶ丘病院 第二、第三駐車場	x	x	x	x	○	x	2,000人

福祉避難所

施設	所在地	電話番号
指定相談支援事業所クローバー	飯島道東2丁目13番地20号	018-846-5328

津波避難ビル

施設	所在地	利用可能範囲	収容人員
雇用促進住宅 緑ヶ丘宿舎	飯島緑ヶ丘町11番1号	・1号棟から2号棟まで ・2階から4階までの廊下、階段、踊り場	540人

津波警報サイレン

施設	所在地
秋田マリーナ	飯島字堀川118番地
飯島穀丁	飯島穀丁210番地4

